

令和5年度 第1回

恵庭市国民健康保険運営協議会

議 事 録

令和5年8月10日（木）16時30分開会
恵庭市民会館 視聴覚室

令和5年度 第1回 恵庭市国民健康保険運営協議会

1. 日時

令和5年8月10日（木）16時30分～17時20分

2. 会場

恵庭市民会館 視聴覚室（恵庭市新町10番地）

3. 出席者

【運営協議会委員】（9名出席）

（1）公益代表

武藤 光一（会長）、石井 美季（会長代行）、生本 富士代

（2）被保険者代表

城生 康裕、神田 美佐子、大貫 司

（3）保険医又は薬剤師代表

青山 康彦、貝嶋 光信、島田 直樹

（4）被用者保険等保険者代表

佐藤 浩之

【事務局（恵庭市）】

市長、保健福祉部次長、国保医療課長、国保管理担当主査、国保給付担当主査

4. 議事録署名委員

生本 富士代（公益代表）、城生 康裕（被保険者代表）

5. 審議事項

報告第1号 恵庭市国民健康保険税条例の一部改正について

報告第2号 第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画について

議案第1号 令和4年度国民健康保険特別会計決算について

6. その他

報告説明

① 令和5年度国民健康保険税の予算執行状況について

② 平成30～令和4年度 国民健康保険医療費状況

1. 開会

○国保医療課長

本日出席予定の方が揃われましたので、只今より国民健康保険運営協議会を開催致します。本日は、何かとご多用の中ご出席頂きまして、誠にありがとうございます。私は保健福祉部国保医療課長の根岸と申します。よろしくお願い致します。

2. 委嘱状交付

○国保医療課長

初めに、公益代表の宮委員、松島委員、新岡委員、保険医代表の平中委員の4名から、辞任届の提出がございました。これに伴い、前任の委員の方からの交代で今回新しく委員となられた方へ、委嘱状を机上に配布してございます。

本協議会の任期は令和7年6月22日までとなっておりますので、よろしくお願い致します。

3. 市長挨拶

○国保医療課長

初めに、原田市長より協議会の開催にあたりご挨拶を申し上げます。

○原田市長

本日は大変お忙しいところ、また暑い中、ご出席頂きまして誠にありがとうございます。また、日頃から市政各般にわたってご支援、ご協力を頂いておりますことに心より感謝申し上げる次第であります。今回は、統一地方選挙があったことから公益代表の委員の皆様が交代され、新たに4名の方々が委員となりました。どうぞよろしくお願い致します。

今日の議案につきましては、令和4年度の国民健康保険特別会計決算と、報告案件ということになってございます。おかげさまで、令和4年度の決算につきましても黒字で終わることができました。2年前から黒字とはなりましたが、その前は累積赤字があり、それをどう解消するかということがありましたが、皆様のご協力を頂いて、保険税も上げるということもあって、赤字を解消することができたということで、委員の皆様のご助言を頂きましたことに感謝申し上げたいと思います。今後の国民健康保険運営ですが、団塊の世代が後期高齢者医療に移行して、国民健康保険の被保険者が減っていくということもありまして、税収面では減少していくということになるかと思っています。また、依然として医療費の関係は増えており、特にコロナ系で増えているということもあり、今後の運営を注視しなければならないと感じております。

ただ、保険制度の中で国民健康保険が果たす役割は非常に重要と考えておりますので、健全な財政運営をこれからも進めてまいりたいと思っておりますので、皆様の貴

重なお意見を賜りますようお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。
どうぞよろしくお願い致します。

○国保医療課長

市長におかれましては公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。

<市長退席>

4. 各委員及び職員の自己紹介

○国保医療課長

続きまして、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、委員の皆様の自己紹介をお願いします。それでは、武藤委員から順次、時計の反対周りをお願いしたいと思います。

<各委員自己紹介>

○国保医療課長

なお、本日島田委員からは欠席のご連絡を受けておりますので、ご報告を申し上げます。続きまして、市職員の自己紹介をさせていただきます。

<職員自己紹介>

5. 会長並びに会長代行の選任について

○国保医療課長

それでは、国民健康保険法施行令第5条により、当運営協議会には会長及び会長代行を置くこととなっており、会長及び会長代行は、公益を代表する委員の中から全委員の選挙によって選出されることとなっております。また、会長代行は、会長に事故等があるときはこれを代行することとなっております。

それでは、この規定に基づきまして、只今から会長並びに会長代行の選任を進めさせていただきます。

恵庭市国民健康保険運営協議会規則第5条により、当運営協議会の議長は会長があたりこととなっておりますが、現在、前会長が辞任されたことから会長が空席となっております。慣例によりまして会長が選任されるまでの間、保健福祉部次長が仮議長ということで進めさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なしの声>

○保健福祉部次長

本来であれば、仮議長は部長が務めさせて頂くのですが、本日急遽欠席となりましたので、私が仮議長をさせて頂きます。

それでは、会長が決まるまでの間、議事を進行させて頂きます。

只今事務局よりご説明申し上げましたように、会長は公益を代表する委員の中から選出して頂きます。

選出の方法としては、投票、推薦、あるいは公益を代表する3名の委員の中で協議して決めるなど色々あると思いますが、どのような方法で行ってよろしいか、ご意見がございましたらご発言をお願い致します。

○神田委員

推薦をさせて頂きたいと思います。公益代表の中で、会長は過去に本協議会の委員であり、恵庭市議会の厚生消防常任委員会の委員長を務められたこともある、経験豊富な武藤委員にお願いするのはいかがでしょうか。また、会長代行は会長が指名して頂くのがいいかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

○保健福祉部次長

只今、神田委員から、会長は武藤委員にお願いして、会長代行は会長が指名するという意見がございました。選出の方法について、これにご異議ございませんか。

<異議なしの声>

それでは、異議がありませんので、当協議会の会長は武藤委員に決定させて頂きます。会長代行は会長が指名するとのことですので、武藤会長より会長代行の指名をお願いしたいと思います。

○武藤会長

それでは、会長代行には石井委員を指名したいと思います。

○保健福祉部次長

只今、武藤会長から、会長代行には石井委員をご指名頂きましたが、ご異議ございませんか。

<異議なしの声>

異議が無いようですので、当協議会の会長代行は石井委員に決定させていただきます。

委員の皆様のご協力により、会長等の選任等を無事終えることができまして、ありがとうございます。それでは、議長を交代させていただきます。

6. 会長並びに会長代行挨拶

○国保医療課長

それでは、会長と会長代行が決定致しましたので、これからの恵庭市国民健康保険運営協議会の議長を武藤会長にお願い致したいと思います。武藤会長は会長席へ、石井会長代行は会長代行席へ移動をお願い致します。

<席の移動>

それでは、新会長よりご挨拶をお願い致します。

○武藤会長

会長に選任して頂きましてありがとうございます。

国保運営協議会ということで、私は専任でこの仕事をずっとしてきているわけではありませんが、被保険者に対しての医療給付や早期発見による重症化の防止など、非常に奥行きが深いと認識してございます。皆様のお助けを頂きまして、会長の任を精一杯務めさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

○国保医療課長

続きまして、石井会長代行にご挨拶をお願い致します。

○石井会長代行

只今会長代行を拝命致しました、石井美季でございます。

会長を補佐し、共にこの会を滞りなく進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

7. 議案審議 報告第1号 恵庭市国民健康保険税条例の一部改正について

○国保医療課長

それでは、これ以降の進行は会長にお願い致します。よろしくお願い致します。

○武藤会長

それでは、これより議案審議に入らせて頂きます。報告第1号、恵庭市国民健康保険税条例の一部改正について、事務局より説明を願います。

○国保医療課長

まずは、本日の議案についてご確認します。

本日の議案は、事前に郵送させて頂きましたが全部で13ページの資料となります。お手元に無い方、ページ抜け等のある方がいらっしゃいましたら、申し出願います。

なお、資料の中で7ページの表に一部数値の抜けがございましたので、机上に差し替えを配布しております。7ページはそちらをご覧ください。

それでは早速報告から参りますが、議案の1ページ目、報告第1号、軽減判定所得の見直しに係る恵庭市国民健康保険税条例の一部改正について、ご説明致します。

詳細は、担当主査から説明させます。

○国保医療課管理担当主査

国保医療課管理担当の田中です。よろしくお願い致します。

報告事項1の、軽減判定所得の見直しに係る恵庭市国民健康保険税条例の一部改正について、ご説明致します。1ページ目をご覧ください。

令和5年4月1日に地方税法施行令の改正が施行されまして、低所得者に対する保険税の均等割及び平等割額の減額措置が拡充されることになりました。

この内容としましては、法定軽減対象となる所得判定基準の引き上げとなりますが、これに伴う条例改正案を令和5年第1回臨時会に提出し、可決されましたので、ここでご報告します。

詳しい内容は概要をご覧ください。

今回の改正は、7割、5割、2割の法定軽減について、国の法改正に伴い、市の条例を改正するものでございます。7割軽減の基準額は変更ございませんが、5割軽減の判定の際に加算する額を、28万5,000円から29万円に、2割軽減の判定の際に加算する額を52万円から53万5,000円に、それぞれ変更をしたものでございます。

次ページ以降に、条例の新旧対照表を記載しておりますので参考として下さい。

説明は以上になります。

○武藤会長

ありがとうございます。報告第1号について説明を頂きましたが、皆様から質疑ございますでしょうか。

<発言者なし>

質疑が無いようですので、報告第1号は以上となります。

8. 議案審議 報告第2号 第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画について

○武藤会長

続きまして、報告第2号、第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画について、事務局より説明をお願いします。

○国保医療課長

それでは議案の5ページ目、報告第2号、第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画について、ご説明致します。詳細は、担当主査から説明させます。

○国保医療課給付担当主査

国保医療課給付担当の斉藤と申します。私からご説明をさせていただきます。

第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査実施計画についてですが、計画策定の背景と目的としましては、今年度末をもちまして第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査実施計画の期間が終了致しますので、次期計画を策定するものでございます。

データヘルス計画とは、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、レセプト・健診情報等のデータ分析により効率的・効果的な保健事業をPDCAサイクルで実施することを目的としています。

また特定健康診査実施計画とは、「高齢者の医療の確保に関する法律」により、国が定める「特定健康診査等基本方針」を参考にすることが定められておりまして、特定健康診査・特定保健指導を円滑に推進することを目的としています。

2番目の、計画の期間については令和6年度より令和11年度までの6年間でございます。

3番目の、計画策定に関するこれまでのスケジュールと4番目の計画策定に関する今後のスケジュールについては、記載のとおりでございます。

今回の計画策定につきましては、北海道国民健康保険団体連合会にご協力を頂きながら、今年度より運用開始となりましたKDB Expanderを活用した統計資料を活用して参ります。

また、北海道との連携についてですが、3番目のこれまでのスケジュールのところにありますが、昨日、保険事業支援・評価委員に、私と保健課の保健師2名の3名で出席してきましたが、恵庭市を担当いたします委員の江別保健所主幹の深津様、千歳保健所主査の渡邊様にもご助言を頂きながら、データヘルス計画及び特定健康診査実施計画を策定していくことが示されたところでございます。

説明は以上になります。

○武藤会長

ありがとうございました。只今説明のありました報告第2号について、質疑がございましたら発言願います。

<発言者なし>

質疑が無いようですので、報告事項については以上となります。

9. 議案審議 議案第1号 令和4年度国民健康保険特別会計決算について

○武藤会長

続きまして、議案第1号、令和4年度国民健康保険特別会計決算について、事務局より説明を願います。

○国保医療課長

それではお手元にあります、議案の7ページ目の、議案第1号、令和4年度恵庭市国民健康保険特別会計決算についてご説明致します。

なお、次ページの「参考資料①決算（概要版）」では、制度の解説も記載しておりますが、こちらは後ほど併せてご確認頂ければと思います。本日はA3横の大きな資料を中心に説明致します。

説明は主な科目を中心にさせていただきますので、金額の詳細等は資料にてご確認ください。詳細は、担当主査からご説明致します。

○国保医療課管理担当主査

私から、令和4年度恵庭市国民健康保険特別会計決算についてご説明致します。初めに、7ページ目左側の歳入からご説明致します。

まず、国保税については、歳出側における納付金及び保健事業費を、国保税にて賄っているものであります。

この国保税の収入状況についてですが、中段にある「計」をご覧ください。

予算額11億2,575万円に對しまして、決算額は11億7,411万8,513円となり、予算額との差引は、額にして4,836万8,513円の歳入増となっております。予算比ではプラス4.3%となりました。

なお、令和3年度収入決算と比較致しますと、加入者数の減少によりまして、約2,900万円ほど減少となったところです。

次に令和4年度の収納状況についてご説明致します。ページが飛びまして、11ペ

ージをご覧ください。

こちらの表は令和4年度における国保税の収納実績を表したものでございます。

まず、上段「区分」の中程少し右にある「収納率」をご覧ください。令和4年度に課税された「現年分」についてですが、現年合計収納率としては、前年の96.39%から96.48%と0.09ポイント増加しております。

次に、令和3年度以前に課税されたものである「滞納繰越分」、これを略して「滞繰分」につきましては、前年の26.67%から29.47%と、2.80ポイント増加しております。

また、現年分と滞繰分の合計収納率につきましては、前年の88.05%から89.06%と、1.01ポイント増加となっております。

ここで参考として、道内の収納状況についてご報告致します。令和3年度実績の数字となりますが、北海道市長会の集計では、平均が現年分が96.24%、滞繰分が24.15%となっております、共に当市の収納率は全道の平均値を上回っている状況でございます。

以上の結果から、国保税の収入状況に関して総括致しますと、昨年度と比較すると、被保険者数の減少等によって調定額や収入額自体はやや減少しているものの、徴収対策について適切に行われた結果、必要な歳入は確保され、当初予算額を大きく上回る収入となっているところです。

それでは資料の7ページにお戻り下さい。

歳入の、道支出金のうち、保険給付費等交付金（普通交付金）についてになります。この交付金は、保険者が療養の給付等に要した医療費の額が交付されるものでありまして、歳出側における保険給付費と対応するものでございます。

コロナ禍により落ち込んでいた医療受診の回復を見込んでおりましたが、決算額は予算を下回りまして、執行率にしますと、94.94%となっているところです。

同じく、道支出金のうち特別交付金についてですが、各項目で前後したものはございますが、合計額ではほぼ予算どおりの交付となっているところです。国民健康保険事務処理標準システムを令和4年度に導入したことから、これに対する補助が発生しているため、例年と比較するとやや大きい収入額となっているところです。

次に繰入金についてですが、繰入金は一般会計から国保特別会計に繰入れするものでございまして、低所得者に対する国保税法定軽減分の補填や一般事務費に代表される「法定分」と、市が行う保健事業等に代表される「任意分」に分かれております。

資料にはございませんが、この内訳としましては、「法定分」が6億1,859万3,819円、「任意分」が1,879万1,914円となっているところです。

なお、補正予算額の45万7,000円は、人事院勧告に基づく職員給与改定によるものでございます。

次に、諸収入ですが、「諸収入」とは滞納世帯からの延滞金や、第三者行為に伴う損

害賠償金、また不正・不当利得に伴う返還金等が該当します。これらは年度当初の見込みを大きく上回り、執行率では132.40%となっているところです。

最後に、財産収入ですが、これは補正予算にて対応したものです。

これは令和3年度決算が黒字決算となったことから、その決算剰余金について国民健康保険支払準備基金へ積立を行ったところです。この積立金の額は1億3,195万1,216円でありましたが、その積立金に発生した利子配分金の額が3,021円であったことから、補正予算にて予算を増額したものであります。

以上、主な歳入科目についての説明となります。

これによりまして、歳入合計は最終予算額69億1,369万8,000円に對しまして、決算額は66億8,643万8,880円となりまして、最終予算額に対する差引額は2億2,725万9,120円、執行率は96.71%となりました。

この差引額の主な要因としましては、保険給付費等交付金の減によるものが大きいですが、歳出面においてもほぼ同額が減少しており、国保税収入は予算を大きく上回る結果となっているため、予算収支上においては大きな影響はありませんでした。

続きまして、右側の歳出についてご説明します。

まず総務費についてですが、国保関連職員の人件費や、運営のために必要なシステム関連の費用がこれにあたります。先ほどご説明した人件費の補正予算45万7,000円を増額補正したところです。なお令和4年度につきましては、国民健康保険事務処理標準システムの導入事業費を計上していることから、例年より予算規模が大きくなっているところです。

次に保険給付費ですが、先ほどの歳入面でご説明したとおり、保険給付費等交付金（普通交付金）と対応する項目でありまして、状況としてはコロナ禍により落ち込んでいた医療受診の回復を見込んでおりましたが、決算総額としては前年よりも若干の増加が見られたものの、予算執行率にしますと95.04%となっております。

次に納付金についてですが、これは北海道より示される確定係数により算出された納付金であり、最終的に示された額は当初予算額予算内である15億9,551万7,000円となったところです。

次に保健事業についてですが、健康づくり推進費、特定健康診査等事業費に大別されておりますが、それぞれ予算を下回り、合計執行率は85.79%なったところです。

次に諸支出金についてですが、「保険税還付金（一般）」は納税者に対する還付金、また「保険給付費等交付金償還金」は保険給付費等交付金などの精算に伴う返還金、「その他償還金」とは保険給付費以外の交付金や、過去の年度の交付金に係る返還金にあたります。それぞれの決算額は予算内での執行に収まったため、執行率にしますと、51.78%となっているところです。

次に財政安定化基金償還金についてですが、こちらは都道府県の広域化に伴って、

平成30年度に北海道財政安定化基金事業で、1億円を借り入れした償還金にあたります。これは令和2年度から令和4年度の3年間で償還するものとなっており、最終年である令和4年度分の償還金として3,300万円を計上し、執行しているものがあります。

最後に基金積立金についてですが、こちらは歳入側でご説明しました財産収入に対応したものであります。補正予算にて財産収入の3,021円を増額対応し、収入の全額を国民健康保険支払準備基金へ積立を行ったものであります。

これによりまして、歳出合計は最終予算額69億1,369万8,000円に対しまして、決算額は65億9,956万4,385円となり、最終予算額に対する差引額は3億1,413万3,615円、執行率は95.46%となりました。

最後にページ左下の歳入・歳出決算額をご覧下さい。これら歳入歳出の結果、単年度収支は8,687万4,495円の黒字となりまして、この黒字額については、全額を令和5年度国民健康特別会計へ繰越としていただいております。

この繰越について解説したものが、13ページの別添資料となります。

前々年度、令和3年度の単年度黒字額については、以前、当協議会で報告したとおり、全額を国民健康保険支払準備基金へ積立を行っていたところです。

令和4年度につきましては、今後令和5年度において保険給付費等の精算に伴う返還金が発生することから、この黒字額は全額を令和5年度に繰越をし、返還金を除いた額を国民健康保険支払準備基金へ積立てるものとし、その補正予算案については令和5年第3回定例会に提出させて頂く予定です。

内容につきましては参考欄にありますとおり、繰越金から保険給付費等交付金償還金として238万7,000円を計上し、その残額を積立金とするものです。

この結果、国民健康保険支払準備基金の残高は、2億1,584万1,732円に増額となる見込みです。

なお、返還金については交付金の精算によって毎年発生することが見込まれるため、本年度以降についても黒字額が生じた場合は、翌年度予算に繰り越すことで対応したいと考えております。

以上、簡単ではございますが、令和4年度国民健康保険特別会計決算についての説明となりますので、委員の皆様のご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○武藤会長

ありがとうございます。議案第1号について、皆様から質疑がございましたら発言願います。

○佐藤委員

決算状況については分かりました。ありがとうございます。昨年の第1回の運営協

議会でもお願い致しましたが、決算数字だけではなく事業の実施結果として、どのような取組を行って、結果がどうであったのか、特に医療費適正化対策や保健事業の取組の結果がどうであったのか、分かる資料をお願いしていたところです。

昨年度は第2回の運営協議会でお示し頂きましたが、今回資料がありませんでしたので、毎年決算時に資料をつけて頂きたいと思います。これによって、どういう取組をした方がいいのかという議論にもなると思いますので、是非お願いしたいと思います。

また、保険者努力支援制度については昨年度の第2回の会議で事業ごとの結果について、決算時にお示し頂けるようお願いしていたのですが、今回資料がありませんでした。資料的には、道内の順位や点数をお示し頂きましたが、事業ごとの状況が重要になってくるかと思うので、決算時に毎年お示し頂ければと思います。できれば、管内市町村の状況もお示し頂ければと思います。

○武藤会長

事務局より答弁願います。

○国保医療課給付担当主査

資料等を用意しておりませんでしたので、次回の運営協議会でお示しできるようにさせていただきます。資料には無かったのですが、先月下旬に来年度の保険者努力支援制度の取組評価分の実施状況と点数を集計したものが手元にありまして、昨年度よりも大幅に配点が減少しておりまして、昨年の特健診等の受診率を除いた部分が、私たちの実施結果を積み上げた点数は388点と申し上げたのですが、今回は306点となっており、配点の変更と項目の削減などがあったことで全体的に点数が削減されているという状況です。

近隣市町村等の状況等につきましても、次回の運営協議会で詳しく説明したいと思いますのでよろしくお願い致します。

○武藤会長

よろしいでしょうか。他に質疑のある方いらっしゃいますか。

<発言者なし>

無ければ、承認の確認に入ります。それでは、議案第1号は承認ということでよろしいでしょうか。

<異議なし>

ありがとうございます。それでは、議案第1号は承認となりました。

10. 議事録署名委員の選任

○武藤会長

日程の最後、その他に入る前に、ここで議事録署名委員の選任についてお諮りしたいと思います。

恵庭市国民健康保険運営協議会第11条の規定により議事録署名委員を2名置くことになっております。議事録署名委員は私からご指名させて頂きたいと思いますが、ご異議はございませんか。

<異議なしの声>

それでは指名させて頂きます。生本委員と城生委員を指名したいと思います。よろしくお願い致します。

11. その他

○武藤会長

それでは日程の最後、その他について委員の皆様から何かございますか。

<発言者なし>

事務局からは何かございますか。

○国保医療課管理担当主査

私から、別にお配りしておりましたその他資料について、簡単にご説明したいと思います。

資料①の令和5年度国民健康保険税の予算執行状況について、ご説明致します。

国保制度改革により歳出の大部分を占める保険給付費は、年度内に北海道からほぼ同額が交付されることから、歳入側の国保税収入を予測することで、令和5年度の決算見込をある程度予測することが可能です。

その他資料①でお示ししておりますのは、6月に行った当初賦課の調定額に推定収納率を乗じることによって、令和5年度の税収見込を予測したものとなっております。

表の下段、現年課税分の行をご覧下さい。当初賦課調定額11億1,203万3,400円に、推定収納率である96.48%を乗じた、10億7,290万5,996円が、現年課税分の収入見込となります。

これは当初予算額の104.2%で、額にして4,310万3,996円の増と見込まれます。

続きまして、滞納繰越分については、当初調定額9,503万1,749円に推定収納率である29.31%を乗じた、2,784万9,952円が収入見込みとなります。これは当初予算額の78.0%、額にしますと787万1,048円の減と見込まれております。減少の要因は、不納欠損等の処理によって当初調定額が予算時の見込みよりも減少したことによるものです。

これらを合計致しますと、令和5年度の国民健康保険税の総計は、当初予算の103.3%、予算額に対しまして3,523万2,948円の増が見込まれることとなります。

現時点では保険給付費及びこれに対する北海道の交付金を除けば、国保税以外に予算額と大きく異なる歳入又は歳出は見込まれていないため、国保会計の収支としても、同程度の増額が見込まれると考えております。

その他①については以上です。

続きまして、その他資料の②についてもご説明します。平成30～令和4年度国民健康保険医療費状況について簡単にご説明致します。

本資料は、食事療養費を除いた診療ベースでの、医療費の推移等について示したものになります。

まず1ページ目になりますが、被保険者の推移について示したものになります。

平成30年から、被保険者数は徐々に低下しており、令和4年度の年間平均被保険者数は1万2,107人と、昨年の97.27%となっているところです。

2ページについては、年度別の医療費合計額になります。上段をご覧ください。

令和4年度は53億5,979万1,000円と、昨年度比の99.3%となりました。その下の表は、診療区分別の内訳となっておりますが、入院・入院外が昨年度よりも上昇したという結果になっています。

3ページ目は年度別の受診率となっております。

令和4年度は百人あたり件数で1,696.89件と、昨年度比で102.9%上昇しております。下表はその内訳になりますが、入院以外で上昇したところです。

4ページ目は一人当たりの費用額となります。44万2,670円と、昨年の102.0%で、ここ数年では最も高い結果となったところです。

下表は診療区分ごとの内訳になりますが、その他（調剤・訪問）以外の診療区分で上昇が見られています。

最後の5ページ目については、1件あたりの費用額になります。2万6,087円と、昨年度の99.2%で若干減少したところでありまして、診療区分ごとに見ますと、入院・入院外が増加し、歯科・その他（調剤・訪問）が昨年度よりも減少しているという結果になっています。

説明は以上となります。

○武藤会長

ありがとうございます。只今説明のあった部分で、委員の皆様からは何かございますか。

○佐藤委員

医療費の資料について、昨年も申し上げましたが、恵庭市の立ち位置がどんな状況であるのかも知りたいので、管内の市町村と比較のできる資料も併せてお願いしたいと思います。他の市町村よりも低いのであれば、対策をしてきている成果であると思いますし、高ければ何らかの対策を取らなければいけないということになると思いますので、管内市町村の数字が分かればお示し頂ければと思います。

○国保医療課給付担当主査

こちらにつきましても、次回の会議までにご用意したいと思います。

○佐藤委員

もう一点あるのですが、前期高齢者の医療状況というのは、市の方で把握しているのでしょうか。

○国保医療課給付担当主査

本日は資料がありませんが、数字的なものは把握しております。

○佐藤委員

私共も前期高齢者の納付金を年間で25億円ほど国に納めておりますので、前期高齢者の医療費が下がれば我々の納付金も減ってきます。健康保険組合も納付金の拠出で厳しい状況にありますので、その辺の状況も教えて頂けたらと思いますので、よろしくお願い致します。

○武藤会長

その他、委員の皆様からお話はございますか。

<発言者なし>

他に無ければ、以上をもちまして本日の審議を終了させて頂きたいと思います。

委員各位の慎重なご協議と議事運営に対するご協力に対し、感謝申し上げます。あ

りがとうございました。